

Fantastique Toba

観光課 ☎ 25 1157

市では、主に地方公共団体の国際交流担当当局などに配属され、国際交流活動に従事する国際交流員(Coordinator for International Relations)として、令和3年10月からフランス人のカズ・ポーリンさんが着任しています。今月号から、鳥羽市国際交流員カズ・ポーリンさんの日々の活動に関するコラムを、コラムで連載します。

Bonjour! ポーリンです。私はフランス人で、昨年の10月から鳥羽市役所観光課で国際交流員として働いています。

よく、どうして鳥羽を選んだのかという質問を受けますが、おそらくそれは半分「運」だと思います。私は日本に来る前、海と自然が近い、小さい町に住んでみたいと思っていました。私の出身地トウルーズは内陸部で海がなく、海の近くに住んでみたことと、地方に住んでいるかたは柔軟に物事に対応できるかたが多いと思っていたからです。

そこへ、日本政府のJETプログラム(外国青年を招致して地方自治体などで任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業をきっかけに、鳥羽市のニーズとのマッチングがうまくいき、鳥羽に来ることになりました。



アンスティチュ・フランセ関西-京都(アジアで最も大きなフランス文化機関ネットワークであるアンスティチュ・フランセの関西支部のひとつ)

国際交流員という言葉は立派なネーミングですが、実際に何をしているかわりにくいかもしれません。具体的な仕事は何ですかと聞かれると、簡単に言えば翻訳してほしいメールを送って人間関係をつなぐ仕事です。

私の仕事の目的のひとつは、鳥羽市を国際的に宣伝することで海外のかたに観光に来てもらうことです。日本へは多くの外国人観光客が訪れますが、鳥羽市へはアジアに次いで、フランス人観



鳥羽市国際交流員
カズ・ポーリン

光客が欧米地域の中で一番多く来訪しています。その理由としてフランス人は海女さんの文化、都会から離れた穴場スポット、また、アウトドアが好きなたが多いからだと思います。

また、鳥羽市のPRのために日本に拠点がある国際組織や海外にある組織と関係性をつなげることも仕事のひとつで、フランスと鳥羽の文化・アート・研究などをテーマに、イベントや会議などを開催し、国際交流の場づくりをして



11月のパリセミナーに向けて、お昼休みにフランス語講座をしています!

います。この取り組みとして、さまざまなイベントを手がけたので、次のページにいくつか紹介します。

今はコロナの影響で、インバウンド推進をするのは難しいですが、鳥羽は可能性が高いと感じています。この仕事を通して、鳥羽ならではの海文化(例えば離島や海女さん、漁村の生活など)を肌で感じています。私はそれらを海外に向けて発信していきたいと思っています。

海外への情報発信にはオンラインコンテンツが効果的です。そこで、SNSで鳥羽の情報を発信するFantastique Tobaというアカウントを作りました。

たくさんのかたからフィードバックをもらえたり、そして鳥羽市民のかたにもフォローしてもらえたらうれしいです!

Fantastique Toba
のアカウント



Instagram



Facebook

形容詞「fantastique」はフランス語で3つの意味があります。

●すてきな ●すばらしい ●幻想的な

このコラムでは、私が鳥羽に引越してきてからの印象をシェアしたいと思います。鳥羽市民のかたのおかげで、毎日学んでいるので、このコラムを通して鳥羽のみなさんにも何か面白いことを学んでもらえたら幸いです。

私は
ココです

国際交流員が開催した 取り組みの一例を紹介します

フランス自治体との オンライン会議

令和3年11月

SDGsをテーマに、フランスの自治体とオンラインによるセミナーを開催しました。フランスの自治体のかたに鳥羽市の取り組みを伝え、鳥羽市を代表する私も少し誇りに思いました。



鳥羽へ総領事訪問

令和4年3月

在京都フランス総領事であるジュール・イルマン氏が鳥羽を来訪しました。市長と総領事がさまざまな対談をするきっかけとなれてうれしかったです。総領事の日本語はペラペラで、同席した私も頑張らないといけないと思いました。



京都のイベントへ参加

令和4年6月

アンステイチュ・フランセ関西―京都で実施された屋外イベント「ル・マルシェ」において、鳥羽市として初出店し、海藻の販売などを通じて交流や情報発信を行いました。
Fantastic Tobaをフロアしたフランス人も来てくれてびっくりしました！



京都で海女の写真展 開催

令和4年8～9月

アンステイチュ・フランセ関西―京都で大野愛子さん(元地域おこし協力隊で、石鏡町の現役海女であり写真家の)写真展「海女の普遍的世界」を開催しました。展示会のオープニングイベントには日仏両国のお客さんが多く参加され、それぞれの視点で海女さんの文化を広められて良かったです。
通訳は大変でしたがとても有意義でした。

